

第25期第13回常任理事会議事録

日時：平成元年12月13日（水）13：30～17：00

場所：気象庁総務部会議室

出席者：浅井、岡村、荒川、竹内、木田、能登、中村、古賀、村松

議事

A. 報告事項

1. 第25期第12回常任理事会の議事録は一部修正の上承認された。
2. 各委員会報告

「庶務報告」主なものは次の通り

- 1) 第26期役員選挙管理委員長は山岸米二郎会員（気象庁予報課長）に委嘱。
- 2) 第26期役員選挙の告示は「天気」1月号に掲載予定

「会計」

- 1) 10月の収支について説明があった。
- 2) 会計の経理計算のできるソフトの検討をしている。

「気象集誌」

- 1) 11月30日現在の電子掲示板掲載リストが提示された。

「国際学術交流」

- 1) 下期の補助金交付申請は2名あった。審査の結果1名に補助金を交付することとした。

「講演企画」

- 1) 大会の申し込み区分にオゾンのセッションを設けることと全体の見直しを委員会で検討する。
- 2) 平成2年春季大会のスペシャル・セッションは「いろいろなQBO（準2年振動）」とする。
—「天気」12月号掲載—

「総合計画」

- 1) AGUの進捗状況について説明があった。

「気象研究ノート」

- 1) 順調に発行されている。
- 2) 今後の発行予定。
168号：熱帯の対流活動と日本の天候
169号：衛星による地球監視
- 3) 気象研究ノートの電子出版方式については、これまでと同じ原稿の出しかた（割付は業者）という条件で賛成である。

「その他」

- 1) 理事長から沖繩秋季大会が盛会裡に終了したことについて報告と謝辞、また、韓国気象学会会長からの盛大であったことの感想と謝辞が伝えられた。

B. 審議事項

1. 会員の新規加入
新規加入14名が承認された。
2. 委員の交代が次の通り承認された。
講演企画委員
新委員 阿部 能明 東京管区気象台 調査課
旧委員 入田 央 気象庁 予報課
3. 極域研究連絡会からのシンポジウム開催について下記の提案があり、木田講演企画担当理事から説明があり、審議の結果提案通り了承された。
開催の時期 平成2年春季大会の前日
テーマ 「地球気候における南極氷床の役割」
主催 日本気象学会
会場 気象庁
4. AGU開催に伴う気象学会の分担金について
気象部門のチェアマンやプレゼンテーションの招待客に要する費用や気象独自の会議運営に必要な経費について、検討が行われた。結果、木田理事が案を作成して次回の常任理事会で検討することになった。
また、IAMAP-93に備える積立金との関連も検討されたが次回に持ち越された。
5. 会員の種別と会費の扱いについて
第12回常任理事会（沖繩）での意見に基づいた修正案について審議が行われ一部修正の上、全理事の賛否投票を行うこととした。賛成多数の場合は、平成3年1月1日改正を目標に、平成2年の総会議案案としての手順をとることとした。
6. 平成2年度の予算案、事業計画案および元年度の事業報告について庶務担当理事、会計担当理事から、各担当理事に対して今後の計画の提案が求められ、継続的に審議して行くことになった。
7. 第25期第2回評議員会について、開催日時、議題等の審議が行われた。